



## 2019年9月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 ティア  
 コード番号 2485 URL <http://www.tear.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富安 徳久

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長 (氏名) 辻 耕平

TEL 052-918-8254

定時株主総会開催予定日 2019年12月20日

配当支払開始予定日

2019年12月4日

有価証券報告書提出予定日 2019年12月20日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期の連結業績(2018年10月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	12,779	3.8	1,156	12.6	1,151	11.5	791	11.7
2018年9月期	12,311	8.5	1,323	11.1	1,300	9.7	896	11.9

(注) 包括利益 2019年9月期 791百万円 (11.7%) 2018年9月期 896百万円 (11.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年9月期	36.05		9.9	9.1	9.1
2018年9月期	44.39		13.6	11.3	10.8

(参考) 持分法投資損益 2019年9月期 百万円 2018年9月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	13,301	8,940	67.2	399.08
2018年9月期	11,958	6,984	58.4	345.65

(参考) 自己資本 2019年9月期 8,940百万円 2018年9月期 6,984百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年9月期	1,177	1,048	715	2,968
2018年9月期	1,620	596	658	2,125

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年9月期		5.00		5.00	10.00	202	22.5	3.1
2019年9月期		5.00		6.00	11.00	246	30.5	3.0
2020年9月期(予想)		10.00		10.00	20.00		55.0	

### 3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,010	4.7	840	14.9	840	14.7	570	15.2	25.44
通期	13,695	7.2	1,220	5.5	1,215	5.5	815	3.0	36.38

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期	22,404,800 株	2018年9月期	20,209,700 株
期末自己株式数	2019年9月期	1,470 株	2018年9月期	1,470 株
期中平均株式数	2019年9月期	21,955,787 株	2018年9月期	20,192,277 株

(参考)個別業績の概要

1. 2019年9月期の個別業績(2018年10月1日～2019年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	12,778	3.8	1,112	15.1	1,108	13.9	763	13.9
2018年9月期	12,312	8.5	1,311	10.4	1,287	9.2	887	11.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期	34.79	
2018年9月期	43.94	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	13,186	8,899	67.5	397.22
2018年9月期	11,906	6,971	58.5	344.96

(参考) 自己資本 2019年9月期 8,899百万円 2018年9月期 6,971百万円

2. 2020年9月期の個別業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,010	4.7	820	14.8	555	15.6	24.77
通期	13,695	7.2	1,170	5.6	780	2.1	34.82

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年9月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出や生産面において海外経済の影響がみられるものの、雇用や所得環境の改善を背景とする個人消費の増加等により、緩やかな拡大基調となりました。また、海外経済の成長率の高まりによる輸出の増加、オリンピック開催に伴う政府支出等により、今後も景気の拡大基調は持続するものとみられておりますが、米中間の貿易摩擦や欧州の政治情勢、消費税率引き上げの影響等、先行きに対する不透明感は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、葬儀単価におきましては、核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。また、直近の業界環境といたしましても、前期と比較し葬儀件数は増加する一方、葬儀単価は低下しております。

かかる環境下、当社グループは顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当連結会計年度におきましては、中長期目標200店舗体制の実現とその後の持続的な成長を目指すべく「オンリーワンブランド“ティア”」のスローガンのもと、2021年9月期を最終年度とする中期経営計画を策定し、4項目のテーマを設け7つの戦略を推進してまいりました。新規出店の状況につきましては、直営は名古屋市内に「ティア猪高」「ティア焼山」「ティア川名」「ティア弥富通」「ティア宝神」「ティア荒畑南」、愛知県下に「ティア矢作」を開設し、葬儀相談サロンとして東京都内に「ティア根津」「ティアお花茶屋」「ティア東池袋」、大阪市内に「ティア蒲生」を開設いたしました。フランチャイズでは、愛知県下に「ティア幸田」「ティアー宮東」、神奈川県下に「ティア座間」を開設し、これにより直営68店舗、フランチャイズ48店舗の合計116店舗となりました。売上原価におきましては、労務費が増加したものの、商品内容の見直しや葬儀付帯業務の内製化を推進し、経費面では中長期の出店を見据えた人材の確保や、営業チャンネルの多様化に伴う広告宣伝費等が増加いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は127億79百万円（前期比3.8%増）となり、売上原価率は前期と比べ0.3ポイント低下し、販売費及び一般管理費は前期比11.1%増となりました。これにより、営業利益は11億56百万円（同12.6%減）、経常利益では11億51百万円（同11.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は7億91百万円（同11.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (a) 葬祭事業

当連結会計年度におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等を積極的に取り組んでまいりました。また、提携企業で特典や割引が受けられる等の会員向け優待サービス「ティアプラス」の充実にも努めてまいりました。葬儀件数におきましては、既存店の件数が増加したのに加え、新たに開設した会館の稼働により、前期比6.6%増の10,923件となりました。葬儀単価におきましては、祭壇売上、葬儀付帯品、供花売上の単価がそれぞれ低下し、前期比2.9%減となりました。この結果、売上高は123億83百万円（同3.8%増）、営業利益は21億57百万円（同1.6%減）となりました。

#### (b) フランチャイズ事業

当連結会計年度におきましては、フランチャイズの会館が前期と比べ3店舗増加し、フランチャイズ会館向け物品売上が増加いたしました。また、経費面ではスーパーバイザーの増員により人件費が増加いたしました。この結果、売上高は3億96百万円（同3.3%増）、営業利益は65百万円（同23.7%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は36億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億77百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が8億43百万円増加したことによるものであります。固定資産は96億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億65百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が4億81百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、133億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億42百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は21億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億25百万円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が1億11百万円、未払法人税等が99百万円減少したことによるものであります。固定負債は22億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億87百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が3億1百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、43億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億13百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は89億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億55百万円増加いたしました。これは主に公募及び第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ6億88百万円増加したことや利益剰余金が5億78百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は67.2%（前連結会計年度末は58.4%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、29億68百万円（前期比39.7%増）となりました。

なお、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は11億77百万円（同27.4%減）となりました。これは主に、法人税等の支払額4億86百万円があったものの、税金等調整前当期純利益が11億51百万円であったことや、減価償却費5億92百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10億48百万円（同75.9%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出10億20百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は7億15百万円（前期は6億58百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出8億15百万円があったものの、株式の発行による収入13億56百万円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、中長期目標200店舗体制の実現とその後の持続的な成長を目指すべく「オンラインワンブランド「ティア」」のスローガンのもと、ローリング方式により中期経営計画を策定し、4項目のテーマを設け7つの戦略を推進してまいります。

葬祭事業におきましては、既存会館が堅調に推移する見通しに加え、新規出店の稼働による増収効果を見込んでおります。また、フランチャイズ事業におきましては、新規クライアントの開発を積極的に行うと共に、会館向け物品販売の拡大を図ってまいります。経費面では取扱商品の見直しや、葬儀付帯業務の内製化等の商品原価率の低減を推進する一方で、「直営会館8店舗開設に伴う会館開設費用」「積極的な新卒採用及び賃金制度改定に伴う人件費」「営業チャンネルの多様化に伴う広告宣伝費」等を見込んでおります。

これにより、次期の見通しにつきましては、売上高は136億95百万円（同7.2%増）、営業利益は12億20百万円（同5.5%増）、経常利益では12億15百万円（同5.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は8億15百万円（同3.0%増）を予想しております。

なお、配当予想につきましては、2020年9月期連結業績予想を勘案し、中間配当金10円、期末配当金10円の合計20円とする予定であります。

また、中期経営計画の方針及び骨子につきましては、同日付で開示いたしました「中期経営計画策定（ローリング）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,125	2,968
売掛金	385	410
商品	53	49
貯蔵品	49	49
その他	143	156
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	2,752	3,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,590	6,088
車両運搬具(純額)	11	18
土地	1,488	1,516
リース資産(純額)	445	391
建設仮勘定	31	6
その他(純額)	161	188
有形固定資産合計	7,728	8,209
無形固定資産	114	95
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
差入保証金	915	921
繰延税金資産	264	281
その他	185	165
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	1,363	1,366
固定資産合計	9,206	9,671
資産合計	11,958	13,301

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	352	323
短期借入金	70	83
1年内返済予定の長期借入金	710	598
未払金	667	602
リース債務	28	29
未払法人税等	291	192
賞与引当金	140	159
その他	173	118
流動負債合計	2,432	2,107
固定負債		
長期借入金	1,531	1,230
リース債務	445	416
資産除去債務	563	606
固定負債合計	2,540	2,253
負債合計	4,973	4,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,184	1,872
資本剰余金	817	1,506
利益剰余金	4,983	5,561
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,984	8,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	6,984	8,940
負債純資産合計	11,958	13,301

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
売上高	12,311	12,779
売上原価	7,471	7,718
売上総利益	4,839	5,061
販売費及び一般管理費	3,516	3,905
営業利益	1,323	1,156
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	0	0
受取保険金	5	24
広告料収入	9	12
その他	8	8
営業外収益合計	29	50
営業外費用		
支払利息	36	30
株式交付費	1	20
その他	14	5
営業外費用合計	52	55
経常利益	1,300	1,151
税金等調整前当期純利益	1,300	1,151
法人税、住民税及び事業税	452	377
法人税等調整額	△47	△17
法人税等合計	404	359
当期純利益	896	791
親会社株主に帰属する当期純利益	896	791



(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
当期純利益	896	791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
包括利益	896	791
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	896	791
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,159	793	4,268	△0	6,221
当期変動額					
新株の発行	24	24			48
剰余金の配当			△181		△181
親会社株主に帰属する 当期純利益			896		896
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	24	24	714	—	763
当期末残高	1,184	817	4,983	△0	6,984

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	0	0	6,221
当期変動額			
新株の発行			48
剰余金の配当			△181
親会社株主に帰属する 当期純利益			896
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	0	0	0
当期変動額合計	0	0	763
当期末残高	0	0	6,984

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,184	817	4,983	△0	6,984
当期変動額					
新株の発行	688	688			1,377
剰余金の配当			△213		△213
親会社株主に帰属する 当期純利益			791		791
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	688	688	578	—	1,955
当期末残高	1,872	1,506	5,561	△0	8,940

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	0	0	6,984
当期変動額			
新株の発行			1,377
剰余金の配当			△213
親会社株主に帰属する 当期純利益			791
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△0	△0	△0
当期変動額合計	△0	△0	1,955
当期末残高	0	0	8,940

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,300	1,151
減価償却費	561	592
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13	19
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△0
受取利息及び受取配当金	△5	△4
支払利息	36	30
固定資産除売却損益 (△は益)	8	3
売上債権の増減額 (△は増加)	△97	△24
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14	4
仕入債務の増減額 (△は減少)	36	△28
未払金の増減額 (△は減少)	146	△33
その他	71	△15
小計	2,060	1,693
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△36	△30
法人税等の支払額	△403	△486
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,620	1,177
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△633	△1,020
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△13	△17
差入保証金の差入による支出	△12	△66
差入保証金の回収による収入	71	60
その他	△10	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△596	△1,048
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	560	550
短期借入金の返済による支出	△550	△536
長期借入れによる収入	447	402
長期借入金の返済による支出	△892	△815
株式の発行による収入	—	1,356
配当金の支払額	△182	△213
リース債務の返済による支出	△34	△28
その他	△6	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△658	715
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	366	843
現金及び現金同等物の期首残高	1,758	2,125
現金及び現金同等物の期末残高	2,125	2,968

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社にサービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱うサービスについて国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社は、葬儀請負を中心とした葬祭事業と、当社のこれまでのノウハウを生かした葬儀会館運営のフランチャイズ事業を行っております。

したがって、「葬祭事業」、「フランチャイズ事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成方法と概ね同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,927	383	12,311	-	12,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	-	0	△0	-
計	11,927	383	12,311	△0	12,311
セグメント利益	2,191	85	2,277	△953	1,323
セグメント資産	9,257	43	9,300	2,657	11,958
その他の項目					
減価償却費 (注)3	500	0	501	60	561
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 (注)3	984	0	984	42	1,027

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△953百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△953百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額2,657百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産であります。

(3) その他の項目の減価償却費の調整額60百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(4) その他の項目の有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額42百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用と同費用に係る償却額が含まれております。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,383	396	12,779	—	12,779
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	12,383	396	12,779	△0	12,779
セグメント利益	2,157	65	2,222	△1,066	1,156
セグメント資産	9,532	34	9,566	3,734	13,301
その他の項目					
減価償却費 (注)3	523	0	523	68	592
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 (注)3	754	0	754	306	1,061

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,066百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,065百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額3,734百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産であります。
  - (3) その他の項目の減価償却費の調整額68百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
  - (4) その他の項目の有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額306百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
  3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用と同費用に係る償却額が含まれております。

b. 関連情報

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高について、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高はなく、該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高について、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高はなく、該当事項はありません。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり純資産額	345.65円	399.08円
1株当たり当期純利益	44.39円	36.05円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	896	791
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	896	791
期中平均株式数 (株)	20,192,277	21,955,787

(重要な後発事象)

該当事項はありません。